

中海における魚類のへい死に関する情報提供（最終報）

下線部：第2報からの修正・追加箇所

状 況 平成25年9月19日（木）

17日9：30頃 出雲河川事務所の河川パトロール実施中に、中海弓浜干拓地付近（鳥取県境港市小篠津町～渡町）の沿岸約4 kmの範囲で魚類のへい死（約4,500匹）を確認しました。なお、魚種は、サッパ、チヌ、ハゼが確認されている状況です。続報は以下のとおりです。

発生場所 鳥取県境港市小篠津町～渡町地先

発生原因 特定できず

国土交通省出雲河川事務所での水質調査結果は以下のとおりです。

- ・急性魚毒性成分分析の結果、毒性成分は検出されなかった。（中浜港（境港市小篠津町）において、17日13：30～15：00頃採水）
- ・9月16日1時から8時にかけて中海湖心観測所で北～北北東の風速13m/sを超える強い風が連続して観測されていることから、貧酸素水の沿岸への這い上がりの可能性が高いと考えられる。

鳥取県水産試験場の現地確認（9月17日）結果は以下のとおりです。

- ・斃死した個体は腐敗が進んでおり、死後1～2日程度経過していると推察される。
- ・9月17日時点は、溶存酸素も高く、魚も沢山遊泳しており、正常な状態となっている。

回 収 量 累計約4,500匹（9月18日15：00現在）

今後の対応 水質の異常が認められないこと、また、魚の回収が完了し新たな魚のへい死が確認されなかったため、本件の対応を終了する。なお、引き続き河川パトロールによる監視を続ける。

提 供 先

鳥根県政記者会、鳥取県政記者クラブ、米子市政記者クラブ

問い合わせ先

国土交通省 出雲河川事務所 水環境課

電話 0853（20）1763

水環境課長 柏原 良彦